

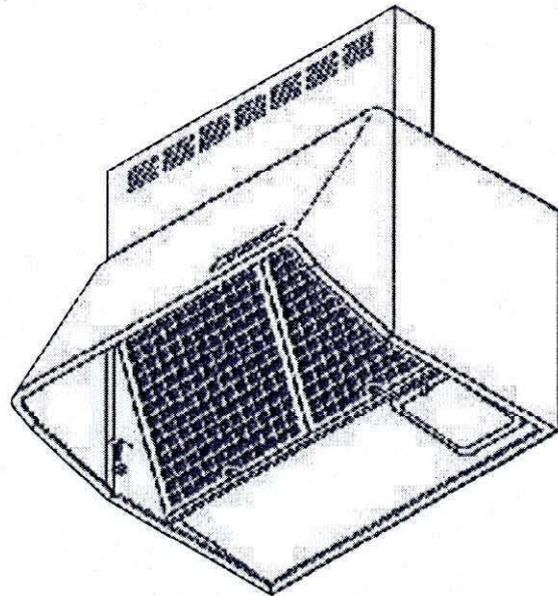
# 取扱説明書

# レンジフードファン

このたびはレンジフードファンをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、取付説明書とともに大切に保存してください。



## も く じ

	ページ
安全上のご注意 .....	2・3
各部のなまえ .....	3
使いかた .....	4
ランプの交換のしかた .....	4
お手入れのしかた .....	5・6
故障かなと思ったら .....	7
アフターサービス .....	7・8
仕 様 .....	8

# 安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危険や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

**警告**：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

**注意**：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

絵表示の例



△記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

## 警告



●感電の恐れあり  
電球を交換する時は必ず電源プラグを抜いてから行なってください。



●修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造はしないこと  
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。



●お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切ること  
また、ぬれた手で抜き差し、切/入しないこと  
感電やけがをすることがあります。



●電気製品は、水につけたり水をかけたりしないこと  
発火したり感電することがあります。



●本体各部に直接水やお湯、かび取り剤等をかけない  
ショート・感電の原因になります。



●電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭くこと  
火災の原因になります。

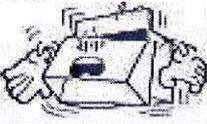
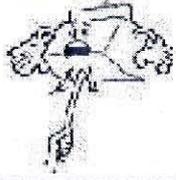
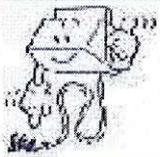


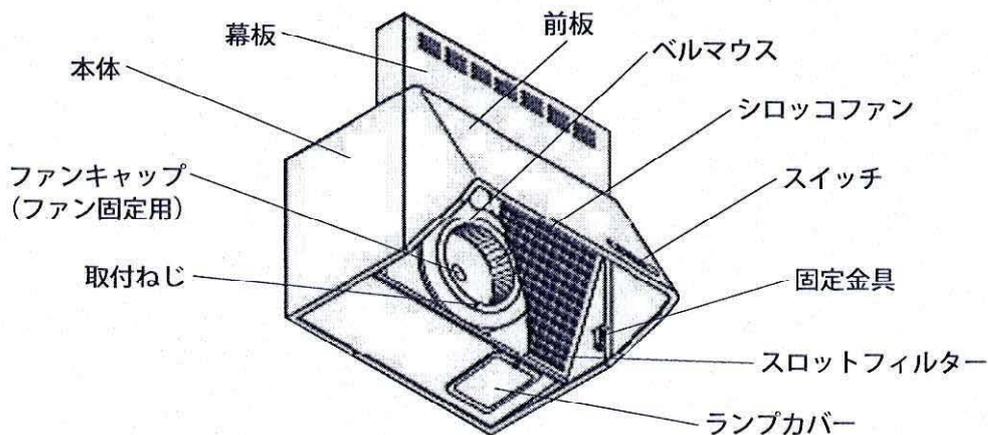
●電球を交換するときは、必ず電源プラグを抜く、または分電盤のブレーカーを切って行う  
抜かずに作業すると感電することがあります。



●ガス漏れの恐れがある場合は、換気扇を使用しない  
爆発・引火の恐れがあります。

## ⚠ 警告

 <ul style="list-style-type: none"> <li>• やけどの恐れあり 指定以外の電球を使用しないでください。</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>• けがの恐れあり お手入れの際はゴム手袋をお使い下さい。</li> </ul>
 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜くこと コードに傷がつき、火災や感電の原因になります。</li> </ul> 	 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 長時間で使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切ること 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。</li> </ul> 
 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 羽根や部品の取り付けは 確実にすること 落下によりけがをすることがあります。</li> </ul> 	 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 運転中は指や物を絶対に入れないこと けがをすることがあります。</li> </ul> 
 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 調理中は、フィルターや周辺の部品に手を触れないこと フィルターや部品が落下して、やけどやけがをすることがあります。</li> </ul> 	 <ul style="list-style-type: none"> <li>• お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること 鋼板の切り口や角でけがをすることがあります。</li> </ul> 
 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 本体に異常な振動が発生した場合、 使用しない 本体、部品の落下によりけがをすることがあります。</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 指定以外の電球を使用しない ランプ部分が高温となりやけどをする恐れがあります。</li> </ul>
 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 交流 100V 以外では使用しないこと 火災の原因になります。</li> </ul> 	



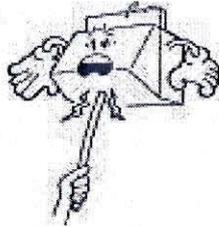
# 使いかた

## ⚠ 注意

- 運転中は指や物を絶対に入れないこと  
けがをすることがあります。



接触禁止



- 調理中は、フィルターや周辺の部品に手を触れないこと  
フィルターや部品が落下して、やけどやけがをすることがあります。



接触禁止



### ご注意

- ガステーブルを使用するときは、必ずレンジフードファンを運転してください。  
運転しないとフード内の温度が上がり、高熱による故障の原因となります。
- ガステーブルの空炊きは絶対にしないでください。  
レンジフード内の温度が高くなり故障の原因となります。

■ スイッチのボタンを押します。

**照明** …… ランプが点灯します。ランプを消すときは再度押してください。

**強** …… 煙などが多く出るとき、早く排気したいとき。

**弱** …… 煙などが少ないとき、長時間静かに運転したいとき。

**常時** …… お料理以外で居住空間の換気を静かに連続で行いたいとき。  
お料理以外通常は常時運転をしたままにしてください。

**切** …… 運転が停止します。(ランプは消えません)

# ランプの交換のしかた

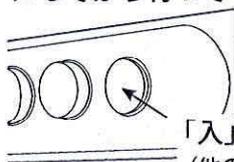
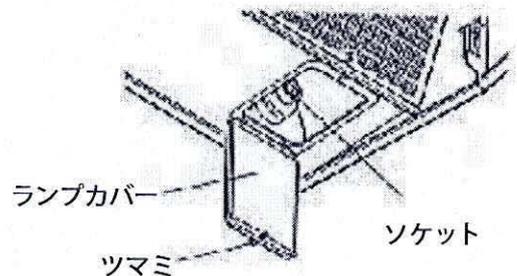
ご使用中ランプが切れた場合には、市販の一般照明用電球定格 100V40W形を購入し交換してください。

### ● ランプの交換方法

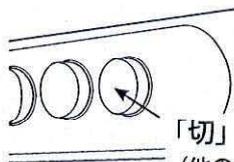
- ① ランプカバーのつまみを外します。
- ② 切れたランプを取り外し、ランプカバー内のソケットに新しいランプを確実に固定します。

### ご注意

- ぬれた手でスイッチを入/切しないでください。  
ランプの交換はスイッチの **照明** ボタンを「切」の状態にしてから行ってください。



「入」の状態  
(他のボタンより  
引っ込んでいる)



「切」の状態  
(他のボタンより  
出ている)

感電の恐れがあります。

# お手入れのしかた

## 警告

- お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切ること  
また、ぬれた手で抜き差し、切/入しないこと  
感電やけがをすることがあります。



## 注意

- 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜くこと  
コードに傷がつき、火災や感電の原因になります。



### ご注意

- 突起や角でけがをしないように静かにふいてください。
- シンナー、灯油、みがき粉、アルカリ性洗剤などは使用しないでください。  
変質・変色の恐れがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 60℃以上の熱湯は、使用しないでください。プラスチック部分が変形します。
- フィルターは、専用のものをご使用ください。  
一般市販品をご使用になりますと、通気抵抗が大きくなり、吸い込みが悪くなったり、音が大きくなり故障の原因となる恐れがありますので絶対に止めてください。

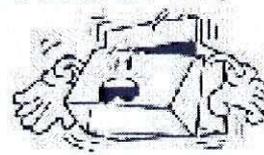
# 1分解・組み立てのしかた

## 注意

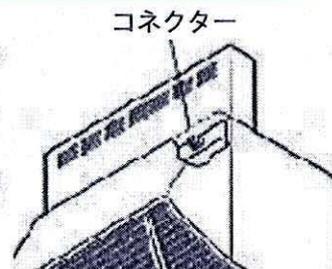
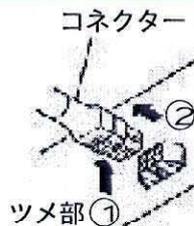
- お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること  
鋼板の切り口や角でけがをすることがあります。



- 羽根や部品の取り付けは確実にすること  
落下によりけがをすることがあります。

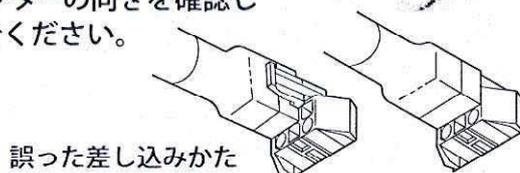


- (1) コネクターを外します。  
①のツメ部を押しながら、②方向へ引き抜きます。



### ご注意

取り付ける場合は、コネクターの向きを確認し  
確実に元まで差し込んでください。



# お手入れのしかた (続き)

- (2) 前板を外します。  
固定金具を上スライドさせ、前板を手前に引いて外します。

## ご注意

前板を外す場合は、前板上部裏ツメ穴が本体のツメ部から確実に外れているか確認してください。外れていないと前板のツメ穴や本体のツメが変形する恐れがあります。

取り付ける場合は、前板をフックに引っ掛けた後本体ツメ部が前板の穴に確実に入るように前板を斜め上に押し上げて取り付けてください。

## ご注意

前板を取り付ける場合は、前板上部裏ツメ穴が本体のツメ部に確実に差し込まれているか確認してください。差し込みが不十分ですと前板が落下する恐れがあります。

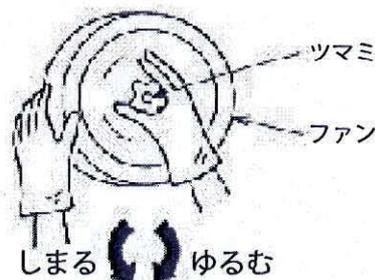
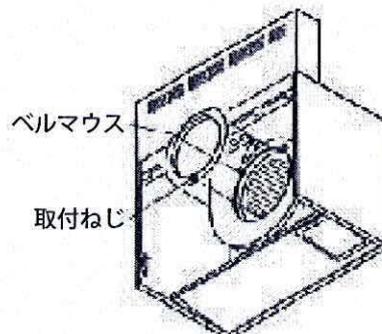
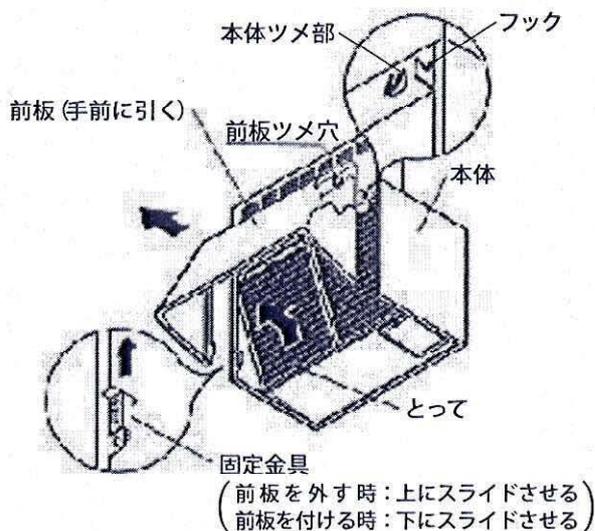
- (3) スロットフィルターを外します。  
フィルターのとってを持って上にあげ、手前に引きます。

- (4) ベルマウスを外します。  
ベルマウスの取付ねじ 1か所を手で緩めて、上部爪からスライドさせて、ベルマウスを外します。

- (5) シロッコファンを外します。  
ファンを押さえツマミを「ゆるむ」の方向に回して外したあと、ファンを取り出します。取り付けるときは、ファンを元まで差し込みツマミを締めつけます。

## ご注意

ファンをぶついたり、落したりして変形させないでください。異常な音、振動の原因となります。

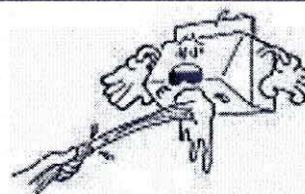


## 2 お手入れのしかた

### ⚠ 警告

- 電気部品は、水につけたり水をかけたりしないこと  
発火したり感電することがあります。

水かけ禁止

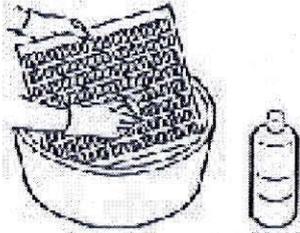


## ご注意

あまり汚れないうちに掃除してください。期間が長くなると、油がたまって汚れが落ちにくくなります。特にスロットフィルターは月に1度程度お掃除してください。

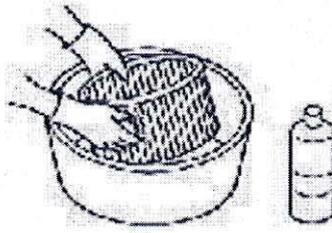
### ■スロットフィルター

1か月に1度程度、中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸したのち金属以外のタワシなどで洗ってください。  
汚れを落としたあと、洗剤が残らないように水洗いし、水気をとってから取り付けてください。



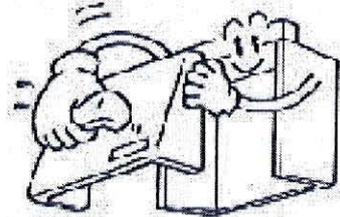
### ■ファン

本体から外して、中性洗剤を溶かしたぬるま湯につけて洗ってください。  
汚れを落としたあと、洗剤が残らないよう水洗いし、水気をとってから取り付けてください。



### ■本体、前板

中性洗剤溶液に浸した布で汚れをふきとったあと、洗剤が残らないよう、清水を湿らせた布で洗剤を良くふきとってください。



## 故障かなと思ったら

修理を依頼される前に

次の点をもう一度お調べください。

症状	点検するところ
運転しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ヒューズ、ブレーカーが切れていませんか。</li> <li>●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。</li> <li>●本体と前板間のコネクターが十分差し込まれていますか。</li> </ul>
振動・騒音が大きくなった	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ファン固定用ツマミが緩んでいませんか。</li> <li>●スロットフィルター、ファンの汚れが多くなっていますか。</li> </ul>

## アフターサービス (必ずお読みください)

### 補修用性能部品の最低保有期間

- 当社は、この換気扇の補修用性能部品を製造打切後6年保有しています。  
(補修用性能部品とは、その後の機能を維持するために必要な部品です。)

### ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

- 製品の保証期間は、お買い上げ後正常のご使用状態において年間です。

# アフターサービス (続き)

## 修理を依頼されるときは

## 出張修理

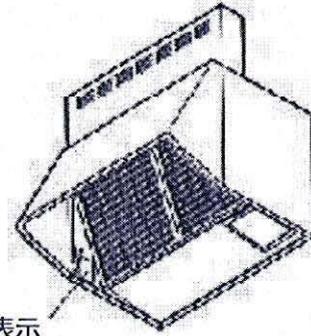
ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

### ご連絡していただきたい内容

品名	レンジフードファン
形名	
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

### ご注意

レンジフードファンの形名は、本体の左側面内側に表示してあります。



形名表示

### 愛情点検



### ★長年ご使用の換気扇の点検を

ご使用の際、このような症状はありませんか？

- スイッチを入れても、動かないときがある。
- 運転中に異常な音や振動がある。
- 焦げ臭いにおいがする。
- その他、異常・故障がある。

ご使用中止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

# 仕様

性能	電圧 (V)	周波数 (Hz)	速度調整		消費電力 (W)	風量 (m³/h)	騒音 (dB)	製品質量 (mm : kg)	
BLⅢ型 相当品	100	50	強		101	590	42	600 :14	
		60			111	550	40		
		50	弱		45	315	29		750 :17
		60			45	290	27		
		50	常時	強	19	155	21	900 :20	
		60			19	150	20		
		50		弱	11	100	17		
		60			11	95	17		

消費電力、風量、騒音の測定はSC9603による。

- レンジフードファンに使用している部品は、性能向上などのために予告なしに一部変更することがあります
- 常時運転は施工時に、強弱いずれかセットされています。強弱の設定は換気設定により決められていますので、お客様が操作することはできません

### お客様メモ

後日のために記入しておいてください。  
サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

購入店名

電話 ( ) -

ご購入年月日

平成

年

月

日

(製造元)

富士工業株式会社

本社・営業部 〒229-0006相模原市淵野辺2丁目 番9号  
TEL 042(768) 3754 (営業部)